

FUKUSHI就職フェア京都丹波を通じて採用された方の声

高齢	介護職	正職員（50代女性）	（社医）清仁会	介護老人保健施設シミズふないの里
なぜ福祉業界へ		接客業を中心に経験を積み、人と関わることや喜んでいただけることにやりがいを感じてきました。今後の働き方を考える中で、同じように人と関わりやりがいを感じられる介護の仕事に興味を持ち、就職フェアや職場見学を通じて仕事内容を知るうちに「自分も挑戦してみたい」と思ったことが就職のきっかけです。		
就職先の決め手		複数の事業所を見学しましたが、現在の職場は雰囲気がとても良く、職員が利用者さんに温かく接している姿が印象的でした。また、未経験者をしっかり育てる体制が整っており、安心して挑戦できると感じたことが決め手です。		
福祉のリアル		利用者さんとの何気ない会話や笑顔に触れるたびに、この仕事のやりがいを実感しています。介護福祉士の資格取得を目指すとともに、自分の経験を通して、年齢に関係なく新しいことへ挑戦できることも伝えていきたいです。		

高齢	介護職	パート職員（20代男性）	（福）アイリス福祉会	特別養護老人ホームヴィラ多国山
なぜ福祉業界へ		学生時代に医療分野を専攻していましたが、進路変更により、医療とつながりのある福祉へ興味を持ちました。		
就職先の決め手		職員の皆さんの雰囲気が良かったことが今の職場を選んだ決め手です。		
福祉のリアル		利用者さんの一番近いところでケアに関わることができるのが福祉の魅力です。		

障害	生活支援員	正職員	（福）花ノ木	花ノ木医療福祉センター
なぜ福祉業界へ		家族が献身的に介護に取り組む姿を見て、その思いや介護の魅力について知りたいと感じたことがきっかけで、福祉の仕事に就きました。		
就職先の決め手		就職フェアで話しやすい雰囲気を感じ、施設見学を通して、職場の明るい雰囲気やスタッフの真摯な対応に触れ、この施設で働きたいという思いが強まりました。		
福祉のリアル		自力での動作が困難だと思っていた方でも、スタッフの声掛けの方法やタイミングによって想像以上の能力を発揮できることを知り、利用者さんの可能性を引き出すことのできる今の仕事の素晴らしさを実感しました。		

高齢	介護職	パート職員（40代女性）	（医）睦会	ムツミ病院介護医療院
なぜ福祉業界へ		以前も福祉業界で勤務しており、福祉の仕事にやりがいを感じていたことから、再びこの仕事に携わりたいと考えました。		
就職先の決め手		今の職場を選んだ理由は、介護サービスが充実されていることや、院内託児所等の働きやすい環境づくりに力を入れていることに魅力を感じたためです。		
福祉のリアル		介護職は未経験のため大変だと感じることもありますが、利用者さんに関わる中で笑顔が見られたり、「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたりすると、とても嬉しく思います。		

児童	保育教諭	20代女性職員	（福）京都ルーテル会	南丹のぞみ園
なぜ福祉業界へ		「人と関わり、誰かの役に立つ仕事に就きたい」という思いから、福祉業界に就職しました。		
就職先の決め手		大学の先輩が働いていることを知り、実習を通じて園の雰囲気が自分に合っていると感じたことが、今の職場の決め手です。		
福祉のリアル		福祉の仕事には、人と関わる仕事だからこそ得られる経験や喜びがあると思います。決して楽な仕事ではありませんが、日々やりがいを感じています。		

高齢	介護職	20代職員	ケアコミュニティ（株） グループホーム亀岡清泉荘
なぜ福祉業界へ	祖母の介護を家族でしていたことがきっかけで、福祉の仕事に興味を持ちました。		
就職先の決め手	今の職場は通勤距離が短く、以前から気になっていましたが、最終的な決め手となったのは、見学をして働いてみたいと思えたことです。		
福祉のリアル	利用者さまの生活に寄り添い、笑顔や感謝の言葉をもらうことができます。きついつと感じることもありますが、とてもやりがいを感じることができる仕事だと思います。		

障害	支援員	50代男性職員	（福）亀岡福祉会 かめおか作業所
なぜ福祉業界へ	前職では製造業に従事しており、日々機械や製品と向き合う仕事をしていました。しかし、次のステップとして「人と直接関わる仕事がしたい」という思いが強くなり、福祉の業界に興味を持ちました。人と触れ合うことで得られる喜びや誰かの支えになれる「やりがい」を感じたいと思い、福祉業界を選びました。		
就職先の決め手	就職先を決めるうえで、私は地元の地域福祉に関わりたいという思いが強くなり、自分が育った場所で人の役に立てたら嬉しいなと思っていました。また以前から、障害者福祉に興味があったのと、現在の職場（亀岡福祉会）と出会って、面接を通じ「この職場が私を必要としてくれる」と感じ、「ここで頑張りたい」と思えたのが、最終的な決め手となりました。		
福祉のリアル	福祉の仕事を始めてみると、確かに業界的に人手が足りていない場面、また体力的にしんどいと思うこともあります。いわゆる3Kと言われるのもあながち間違っていないと思う瞬間があります。ただ、それ以上に利用者さんの笑顔や出来ることが少しずつ増えていく姿を見た時の喜びは、「この仕事をしてよかったなあ。」と心から感じます。しんどさよりも「やりがい」が勝るのが、福祉のリアルだと思います。		

児童	保育補助	女性職員	（福）愛嶺福祉会 太田保育園
なぜ福祉業界へ	FUKUSHI就職フェアに来場したことがきっかけで、福祉業界に出会いました。		
就職先の決め手	自分が周ったブースの中で一番親身に話をしてくださり、楽しそうな雰囲気を感じたことが決め手です。		
福祉のリアル	おむつ替えや食事（おやつ）の見守りなど、福祉業界全体で共通する部分や苦労もありますが、介護・障害・児童の分野ごとに接する相手が変わるので、身体的・精神的な負担も分野ごとに変わってくるだろうと思います。		

高齢	介護職	60代職員	ケアコミュニティ（株） グループホーム亀岡清泉荘
なぜ福祉業界へ	一番はじめのきっかけは、福祉の仕事をしている友人に誘われたことです。		
就職先の決め手	ブースで対応してくださった方に好感が持ったことと、見学に行かせていただいた施設でインコと犬が飼われており、こんな職場で働きたいと思ったことです。		
福祉のリアル	高齢になってからご家族と離れて暮らすのはとても不安があると思うので、少しでも安心して日々の生活をしていただけたらと思います。利用者さまと楽しい時間を共有でき、笑顔が見られた時や「ありがとう」と言っていたいた時、私も感謝の気持ちが湧いて嬉しくなります。		